

第4回 稚アユ救出作戦 参加報告

“ 稚アユがたくさん遡上しました ”

主催：利根川・江戸川流域ネットワーク

2008年4月12日（土）10:00～12:00

場所：江戸川水閘門（江戸川河川事務所江戸川河口出張所）付近

江戸川河口に集まるたくさんの稚アユを上流の河川に遡上させることを目的とした“第4回稚アユ救出作戦”が行われ、日本一のアユを取り戻す会からは堂前、野村、宮澤、宇敷、福田が参加しました。当日は約250名の参加があり、盛大にイベントが行われました。

救出作戦は、大型紙芝居「アユの一生」、子供達を乗せたEボート5艇による閘門通過、クイズラリー、パネル展示などが行われました。また、国土交通省が現在調査中である“簡易魚道”の様子も公開されました。

たくさんの稚アユが上流の利根川に遡上することが期待されます。

（報告：福田睦夫）



当日の様子



大型紙芝居



展示された稚アユ（漁協提供）



E ボート



E ボート



簡易魚道下流部



簡易魚道上流部



簡易魚道内部

アユにやさしい江戸川を目指して

えどがわすいこうもん

江戸川水閘門周辺で調査をしています



門が閉まるとのぼれない・・・



閘門付近の稚アユ



上流の利根川で成長したアユは秋に産卵し、卵からかえった稚魚は海まで下りてしばらく海で生活します。その後、成長とともに再び川を遡上しますが、江戸川水閘門には魚道がないため、アユは簡単に遡上できません。

国土交通省江戸川河川事務所では、魚類調査や水閘門の開閉、簡易魚道の実験により、アユなどの魚類がのぼりやすい環境の創出を目指しています。

国土交通省江戸川河川事務所ではアユなどが遡上しやすくなる方法について魚類調査を実施しています



◆水生
利根川
04-742-1017
03-3630-1480

アユを上流へ遡上させるため 次の調査を行っています

① 閘門の効果的な開閉によって、アユを上流へのぼらせることができるか？

アユは水の流れを感知して上流へのぼります。閘門を開けると上流から水が流れてくるため、アユは閘門を通過して川をのぼることができます。そこで、閘門を開けた場合、どれくらいのアユがのぼっているのかを調べています。



② ポンプで水を流すことにより、アユを上流へ誘導できるか？



閘門の開閉は限られており、水の流れが十分ではありません。そのため、ポンプを設置して水の流れを作りだし、この流れによってアユを閘門の上流へ誘導することができるのか調べています。

③ 簡易魚道を設置することで、どれだけのアユが魚道をのぼるか？

閘門を通らずに水門側へ進入した多くのアユは、水門の下流でのぼれずにいます。

そこで簡易魚道を設置し、閘門側へ移動させることが可能であるか実験をします。

平成20年は簡易魚道の設置によってどれくらいのアユが簡易魚道を利用するか調べその効果を確認します。



◆お問合せ先◆

国土交通省 関東地方整備局 江戸川河川事務所

調査課 04-7125-7317

江戸川河口出張所 03-3679-1460